

## 衆院選の結果について

与党が圧勝し、政権基盤はより盤石なものとなった。

野党の分裂・再編という事態を受けて、この国の将来を託す政党、政治家を選択する選挙戦となった。結果的には、野党が自滅し、失速するなかで、多くの国民が安倍政権の実績を評価し、安定政権の継続を信任する一票を投じたのではないか。

京都では、自民党が4選挙区で勝利する結果となった。文化庁移転をはじめ、政権とのパイプを活かして京都から未来の日本づくりに取り組んでいただきたい。

一方、慌しいスケジュールのなかで、消費税の使途や財政再建、憲法改正といった重要政策についての議論が深まったとは必ずしも言えず、国民不在の野党再編によって政治への不信感が広がりつつあることは残念だ。

世界的な株高を追い風として、本格的な経済成長を実現するためには、政治の停滞はゆるされない。とりわけ企業の人手不足が深刻化するなかで、生産性を向上するための企業の新たな投資を促進するとともに、働き方改革をさらに加速化させていくことが重要である。政府は、選挙で先送りとなった関連法案の成立を急ぐとともに、経済最優先で日本経済の再生と地方創生に取り組んでいただきたい。

以上

平成29年10月23日  
京都商工会議所  
会頭 立石 義雄